

令和7年度 第1回新潟市北区郷土博物館協議会 概要

日 時：令和7年10月29日（水）午後3時～

場 所：新潟市北区郷土博物館 集会室

出席委員：8名

今井美弥子 貝沼良風 北上あつ子 倉島陽子 倉地一則

なぐも友美 本田雄二 鷲尾健仁（五十音順、敬称略）

欠席委員：なし

傍聴者：なし

事務局：（北区地域総務課）江戸誠一 課長

（北区郷土博物館）伊藤健 館長〔司会〕、大森慎子 主幹（学芸員）〔記録〕

曾部珠世 学芸員

資 料：当日配布資料（別添）

会議次第

資料1 令和7年度4～10月事業報告

資料2 令和7年度11～R8.3月事業計画

会議のあらまし

（1）新メンバーによる初の会議として、会議に先立ち委嘱状の受け渡しと、新委員長、新副委員長の選任を行った。その後、初の顔ぶれも多くいるため、館長から、当館の歴史を含めた概要を説明し、さらに現状についての説明を行った。

（2）令和7年度前期の事業報告及び令和7年度後期の事業計画を説明した。

会議概要

1 開 会

2 あいさつ 新潟市北区地域総務課長 江戸誠一課長

3 委嘱状の交付（机上交付）

4 会長・副会長の選出

5 新会長・新副会長のあいさつ

6 委員の自己紹介

7 議 事

（1）新潟市北区郷土博物館の概要と現状について

以下の概要を事務局（伊藤館長）から説明した。

- ・新潟市の計画・・・令和 22 年頃建物の寿命により更新は行わず、福島潟周辺エリアへ機能移転の予定
- ・令和 5 年 4 月の博物館法の改正に伴い、令和 8 年度に再度登録博物館の申請を行う予定
- ・令和 7 年 4 月より新潟市の方針で有料化を実施。

委員からの主な質問、意見と事務局からの回答は以下のとおり

（事務局からの回答は→で表す）

○ 本田委員

- ・ 来年度の予定と現状の学芸員の配置を教えてください。
- 大森学芸員：常勤・美術担当、曾部学芸員：歴史・民俗担当、
大野学芸員：芸術系担当

(2) 令和 7 年度前期の事業報告について【資料 1】

資料に基づき事務局（大森学芸員）から事業報告を行った。

委員からの主な質問、意見と事務局からの回答は以下のとおり。

（事務局からの回答は→で表す）

○ 北上副会長

- ・ 戦後 80 年展は心にずしんときた。
- ・ 狭いスペースでももっと見たい感じがする。
- ・ インスタやHPで見て、本物を見ることの大事さをあらためて思った。
- ・ 教員対応の講座をしてはどうか。北区に転勤になった先生たちを無料で招待してレクチャーしてはどうかと思う。

○ 貝沼委員

- ・ キテミテ北区 ボランティアさんが折り紙を教えていた。雰囲気良く、ほっとする空間になっていた。
- ・ 魅力ある展示は、どのような企画イベントを行うかが大事だと思う。
- ・ 市民ボランティアの活動が活発になりつつあるのを感じている。

○ 倉島委員

- ・ 松浜からだ公共交通の便が悪いが、来てみると勉強になる。
- ・ 松浜・南浜・太夫浜はこども作品展に出品したり、3年生の出前講座もあるが、とっかかりとなり来館につながってほしいが、来館までする子どもはごくわずか。

このような取り組みは博物館に親近感を感じる。

○ 本田委員

- ・ PRの仕方はどのようにしているか。
→ チラシ・ポスター・市報・区だより・HP・雑誌・フェイスブックインスタグラム・ライン・Yahooなど。アンケートでは来館のきっかけは市報などの紙媒体が多い。
- ・ 蔵出し北区ゆかりの文化財展は、北区の文化財を知ることができて良かった。また、矢印は動線が分かりやすく良かった。
- ・ 所蔵品から見る夏展…有料になって初のため来館者数はなかなか厳しいと思った。
- ・ 戦後80年 北区の資料がたくさんあって良かった 興味深かった 工夫されていると感じた。

○ 今井委員

- ・ 蔵出し北区ゆかりの文化財展・・・葛塚生まれで自分の家の前は新井郷川が通る。自分が生まれ育った場所の昔を知ることができて興味を持てた
- ・ 戦後80年・・・隣のおじいちゃんおばあちゃんが体験したことを思い描いて見ることができた。石井耕一さんにもだんだん興味がわいてきた。来てみないと分からない。どうすれば来てもらえるかは、今は分かりませんが、これからも興味を持って行ってみたい。

○ 鷲尾委員

- ・ 今教員界は大量採用の時代。一定の年数でどんどん入れ替わる状況が続いている。学校として地域巡検を計画している。そこでお力をお借りしたいと思っている。

○ 倉地会長

- ・ 石井耕一さんのことは歴史文化課に勤務していたが、分からなかった。文化財になるのではと思った。もっと発信してはと思う。
 - ・ こども作品展は、こどもの視点が素晴らしい。とても良い取り組み。いろいろな人に地域を越えて見てほしい。
 - ・ ビューとの相互割引、リピーター割引など、北区だけでなくみなとぴあと一緒に組んだりして、いろいろ取り組むことで、時間をかけて波及してくると思う。
 - ・ 戦争展では、文書館でもやっていた。相互の取り組みを地域を広げてやってみると情報が広がるのではないかと思った。
- 北上委員のおっしゃるように、ぱっと見渡せてしまい、ああこれだけかと思われてし

まう。ボランティアの説明を聞くとなるほどと思うが、たくさん情報を文字で読まない
いと分からない。ガイドがいてもいなくても動画やイラストなども使い、わかりやすい
展示を考えていきたいと思っている。

ボランティアは当館のひとつの大きな特徴と思うが、ガイドだけでなく体験教室の講
師などもやってもらっている。新たなボランティアの活動も広げて行ければと思う。

アンケートで料金について聞いているが、ほとんど安いと答えている。それなりの満
足度はあるようなので、その前に、来てもらう、来て有料とみて帰る人もいるので、
なんとか入ってもらうことを研究検討が必要と思っている。

○ 北上副会長

- ・ 収納事務はどうか仕事量が増えているか。

→ 増えてはいるが、お客様が少ないのでさほど負担にはなっていない。

(3) 令和7年度後期の事業計画について【資料2】

資料に基づき事務局（伊藤館長）から事業計画の説明を行った。

委員からの主な質問、意見と事務局からの回答は以下のとおり。

（事務局からの回答は→で表す）

○ 本田委員

- ・ 郷土芸能公演 動画をシティチャンネルでアップするなどしては
- ・ 歳入は実際どうか

→ 予定していたほど収入は増えていない。収入が入れば広報費などにもあてられるが現
状は厳しい。

○ 貝沼委員

- ・ 葛塚縞手織りの会の伝承講座 参加者の目的・意図は？どんな人たち？

→ 継承者を育成したい。関心は高いが、会員増となるかはこれから。気長に考え、継続
した取り組みが必要と思う。

○ 倉地会長

- ・ 観光の方で2年おきにガイド養成講座を開催。全市の街歩きガイド養成を目的。4年
前は20人参加 そのうち15～16人はシティガイドに入ってくれていた。去年は2
0人参加中会に入ったのは4人のみ、教養のみで帰ってしまう。

○ 貝沼委員

- ・ たいしたもんじゃまつりは引き継ぐ2代目として責任感が伴う。つながりをどう構築するかが課題となっている。

○ 北上副会長

- ・ ほかの区では当館の情報をなかなか目にする機会がない。メディア対応、取材を受けると多くの方が目にする機会が増えるのではないか。

○ 倉地会長

- ・ まち歩きガイドはみなとぴあ、旧小沢家 旧斎藤家は無料。北方文化新潟分館はこれまでは有料だったのが、今年夏から無料に。下見も同様。お客さんは2割引き。まち歩きガイドが館内の説明をするようになった。
- ・ まち歩きガイド北宝隊は無料に、連れてきたお客さんは2割引きにできないか。

→ しくみなどを検討してみたい。

(4) その他

次回開催予定などについて説明

8 閉 会